

新任



の

あなたへ

4月は、新人職員が希望を胸に社会人としてスタートする時期です。
 今回は、地域を支えている民生委員・児童委員協議会顧問の渡邊達四郎さんと、特別養護老人ホーム理事長兼施設長の野満守さんに、それぞれの新人の方に向けたメッセージをいただきました。

埼玉県民生委員・児童委員協議会 顧問
 渡邊達四郎さん

「民生委員・児童委員（以下「民生委員」）の抱えている問題が複雑化していると聞きます。昔と比べ、地域課題も変わってきているのでしょうか。
 昔は、お年寄りのお宅に行けば、それだけで喜んでくれましたが、今

最後に新任の民生委員の皆さんにアドバイスをお願いします。
 何事も後回しにしないことです。そして、地域の人と同じ目線でかわること。地域の中で、前向きに信頼関係をつくっていただきたい。民生委員自身も高齢化していますから体調に気をつけて活動しましょう。自分を守り、家庭を守って、無理をせずできる範囲で活動していただきたいと思います。

特別養護老人ホーム
 マザーアース施設長
 野満守さん

「新任の施設職員として、どのような心構えで仕事にあたればよいでしょうか。
 まず、一般常識としてのエチケットやマナーができていることが必要です。自分も相手も大切にすわやかな自己表現を心がけるとよいですね。

「初めての職場で不安を感じることもあると思います。

は、煙たがられることもあります。今は裕福な時代になり過ぎてきているのかも知れませんね。その人その人に合った対応を考えていかなければならない時代になってきています。
 「民生委員が一人で問題を抱えてしまい、対応に迷ってしまうケースもあると思います。そんなときはどのように対応すればいいのでしょうか。
 一人ではなく、単位民生委員・児童委員協議会内での連携や他機関と連携が大切です。
 自分一人で責任につぶされないようにしてください。

「渡邊さんは、長く民生委員をされましたが、中でもうれしかったことを教えてくださいませんか。
 やはり地域の人と親しくなり、声を掛け合えるようになったことですね。
 インフルエンザがはやっていた時期に一人暮らしの高齢者に電話で健康状態の確認をしましたが、そんなささいなことでも、お年寄りから喜

現実社会の不合理や自分の力の無さを感じることもあるでしょう。でも心配はいりません。先輩職員は皆さんの応援団だと思っ、何でも質問して、少しずつ一人前になっていけばいいのです。失敗はつきものです。
 「実際の、施設における基本的なマナーとはどんなものでしょうか。
 施設職員には、利用者や家族は

ばれることがとても励みになりました。

「辛かったことなどはありますか。
 地域の一人暮らしのお年寄りが、亡くなって数日たっていたことです。もともと何か出来なかつたのかなと自分の役割を考えさせられました。
 「どんな仕事も始めは大変ですよな。
 新しく民生委員になられた方には、二期から三期は活動していただきたいと思えます。自分の活動できる範囲でいいのです。長くやっていくうちに、最初は大変だと感じていたことも楽しくなっています。

もちろん、地域の人々に対する丁寧で心のこもった対応が求められています。身だしなみや表情、挨拶、態度、そして話し方・聞き方・言葉使いに気をつけることが基本中の基本です。
 「では、福祉の専門職としてのポイントは何ですか。
 福祉の仕事は、働きがいのある人間らしい仕事です。感性豊かな人間

自分のできるところから、地域との信頼を築く



性と幅広い教養を身につけ、コミュニケーションをうまく行って利用者との信頼関係を築いてほしいです。
 「利用者に良いサービスを提供するにはどこに気をつければよいでしょうか。
 利用者本人が望む生活の実現のために必要なもの（ニーズ）を知ることが大切ですが、心に思う欲求（デザイア）と、実際に口に出す要望（デマンド）には違いがあることを認識することが重要です。そして、注意しなければならぬのはデマンドです。デマンドに配慮しすぎたサービス提供が利用者の残存機能を奪う、あるいは肉親の援助を断つことにつながることもあるからです。

「最後に新任の職員の方たちにアドバイスをお願いします。
 人の痛みや苦しみを思いやることで、初めて利用者との関係が生まれてきます。利用者の悩みや思いを共有できる人は、専門性を高める資質のある職員です。経験豊かな先輩職員に学びながら、一人一人違う利用者の援助を行う中で専門性を磨いてください。

利用者の悩みや思いを共有できる人に



エ

ールをお

くくる